

令和8年度「#あおばな in 青森第一高等養護学校」開催概要

県内の高校生の皆さんに、知事との意見交換を通して県政を身近に感じてもらうとともに、新鮮な意見・発想や県政に対する期待等を把握し、開かれた県政の推進と今後の県政運営の参考にするため、県民対話集会「#あおばな～青森・未来・対話～」を下記のとおり開催しました。

○日時：令和8年5月15日（金）10：30～11：50

○場所：青森県立青森第一高等養護学校 体育館

○参加生徒：35名

<生徒との意見交換>

知事と生徒の皆さんが以下の内容について対話しました。

- ①未来の技術を活用した食糧問題の解決
- ②観光客向けハンドメイド作品の制作
- ③「空飛ぶクルマ」の実現
- ④「未来の自分を考える」万博の開催
- ⑤XR技術の観光業への活用

※知事から生徒の皆さんへのコメントの一部を紹介します。

- ・青森県には、毎年たくさんの観光客が来ている。今はすごくチャンスがあるので、学校で取り組んでいる「ティネイブランド」でのものづくりの経験を活かして、たくさん良いものを作って売ってほしい。
- ・これからは、県民の皆さんがたくさん楽しんでもらえるようなことをやりたい。今年は、本県に優れたスポーツ選手たちが集まる「青の煌めきあおもり国スポ・障スポ」が開催されるので、ぜひ会場に足を運んで、観戦を楽しんでほしい。
- ・観光業では、五感で体験してもらうことが重要なので、VR・ARを活用した仮想世界と現実を上手に組み合わせることも、良いアイデア。

<未来を語る時間>

意見交換の後、生徒の皆さんが「50年後の自分または青森県の未来」を表現した作品を、知事に発表しました。

